

* * 2009年9月改訂(第4版)

* 2005年5月改訂

貯 法：2～8℃保存(凍結不可)

使用期限：直接の容器、外箱に表示(3年)

注 意：使用後は汚染を防ぐため

スポイトキャップをよく締めること。 アレルゲン検査薬

日本標準商品分類番号

87729

薬価収載	1965年12月
販売開始	1965年10月
再評価結果	1989年9月

診断用スクラッチエキス 食品類(穀類、野菜類、果実類、その他)

* 処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

分類	販 売 名	承認番号	分類	販 売 名	承認番号
穀 類	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」小麦粉	(40A)4644	野菜類	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」タケノコ	(40A)4715
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」米	(40A)4645		アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」タマネギ	(40A)4716
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」コンニャク粉	(40A)4646		アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」トマト	(40A)4718
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ソバ粉	(40A)4647		アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ニンジン	(40A)4721
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」トウモロコシ	(40A)4648		アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ホウレン草	(40A)4726
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」パン	(40A)4649		アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ラッカセイ	(40A)4728
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」モチ米	(40A)4650		果実類	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」アーモンド
野菜類	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」エダマメ	(40A)4697	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」リンゴ	(40A)4747	
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」キャベツ	(40A)4698	その他	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」イースト(パン種)	(40A)4748
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ゴマ	(40A)4704		アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ココア	(40A)4750
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」シイタケ(乾)	(40A)4708		アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」チョコレート	(40A)4753
	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ジャガイモ	(40A)4710			

【組成・性状】

組 成	本剤は各々の原料を50%グリセリン食塩溶液で抽出して得た特異的アレルゲンを含むもので、原料重量に対し、10倍液(1:10)である。		
添 加 物	濃グリセリン50%(W/W) 塩化ナトリウム5%(W/W)		
分 類	販 売 名	色	
	穀 類	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」小麦粉 アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」米 アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」コンニャク粉 アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ソバ粉	無色澄明 淡褐色～褐色澄明 淡褐色澄明
性 状	野菜類	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」トウモロコシ アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」パン アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」モチ米 アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」エダマメ アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」キャベツ アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ゴマ アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」シイタケ(乾) アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ジャガイモ アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」タケノコ アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」タマネギ アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」トマト アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ニンジン アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ホウレン草 アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ラッカセイ	無色澄明 ほとんど無色澄明 無色澄明 淡黄色澄明 無色～わずかに褐色澄明 淡褐色～褐色澄明 褐色澄明 淡黄褐色澄明 淡黄色澄明 褐色澄明 淡黄褐色澄明
	果実類	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」アーモンド アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」リンゴ	淡黄色澄明 黄色澄明
そ の 他	アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」イースト(パン種) アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」ココア アレルゲンスクラッチエキス「トリエ」チョコレート	淡黄色澄明 褐色澄明 淡褐色澄明	

【効能又は効果】

診断

アレルギー性疾患のアレルゲンの確認

【用法及び用量】

診断

通常乱刺または切皮法により皮膚面に出血しない程度に傷をつけ、本品1滴を滴下し、15～30分後に膨疹径が対照の2倍以上または5mm以上を陽性とする。

* * 【使用上の注意】

* * 1. 重要な基本的注意

- (1) ショック等の発現を予測するため、十分な問診を行うこと。
- (2) ショック発現時に救急処置のとれる準備をしておくこと。
- (3) 投与後患者を安静の状態に保たせ、十分な観察を行うこと。
- (4) 正確な皮膚反応を行うため、皮膚反応検査前日から抗ヒスタミン薬やメディエータ遊離抑制薬の投与を中止すること。

また、皮膚反応検査を実施する約1週間前から投与を中止することが望ましい薬剤があるので注意すること。

- (5) 反応が陰性を示したときでも、問診等から原因アレルゲンとして特に疑われる場合には、日を改めて再検査することが望ましい。

* * (6) 非選択的β遮断薬服用患者への注意

検査のために本剤が投与されたときに、本剤による反応(アレルギー反応)が強くあらわれることがある。また、本剤によるアレルギー反応の処置のためにアドレナリンを投与したとき、アドレナリンの効果が通常の用量では十分発現しないことがある。

2. 副作用

(1) 重大な副作用

ショック(頻度不明)
ショックを起こすことがあるので、観察を十分に行い、くしゃみ、蕁麻疹、血管浮腫、不快感、口内異常感、喘鳴、耳鳴等があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

観察を十分に行い、次のような症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

	頻度不明
過敏症	喘息発作の誘発、眼瞼又は口唇の浮腫、発疹、掻痒等

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので検査に際しては注意すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

ヒスタミンは子宮筋収縮作用を有しているため、妊娠中はヒスタミン遊離が考えられる広範なテストは避けること。

* * 5. 適用上の注意

* * (1) 投与時

別途販売のスクラッチエキス用対照液(アレルゲンスクラッチエキス対照液「トリエ」)を同時に用いて反応を比較すること。

(2) 判定時

真菌類のエキスは、遅延型反応を認めることがある。

【包 装】

1 mL点滴用スポイト付瓶

【文献請求先】

鳥居薬品株式会社 お客様相談室
〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1
TEL 0120-316-834
FAX 03-5203-7335

製 造
販売元

鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1